

憲照先生の手本ア・ラ・カルト(21)
(à la carte)

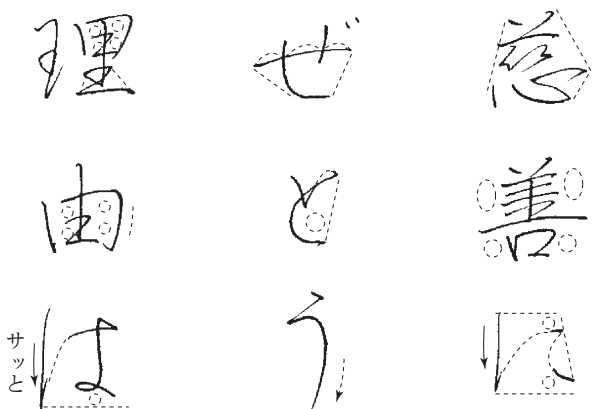
締切り 九月二十二日(必着)

昭和54年12月

慈	な	理
善	ぜ	由
に	と	は
	い	な
	う	い

つけペン・墨汁使用

〔解説〕



◎本会は、今年で創立六十七周年を迎えます。まだまだ世の中には、新型コロナウイルス禍の影響で、世界中が不安の中にいます。

しかしながら諸先生、会員の皆様の「書」への意欲は消えることなく、時間と共に基本的活動は戻りつつあります。

◎今年の短期特別課題は、昨年に引き続き『原点回帰』をテーマとして、本会の創設者奥村憲照先生の手本を改めて学び直すことにいたします。お手本は、硬筆、毛筆、一般部、教育部なども合わせれば相当数あります。一類を四ヵ月交替で掲載していく予定です。

◎多くの方がかつて憧れた憲照先生の書と向き合うことで、書への情熱を今一度燃え上がらせていただければと思います。

◎創立七〇周年に向けて、力強く歩んで行きましょう。

★慈善に…(書体Ⅱ行書)

シルレル(一七五九〜一八〇五)
ドイツの詩人

「慈善になぜという理由はない。ただ愛のない人生は無価値だからである」が全文。

なぜ慈善をするのか。なぜ弱い者を助けるのか。恵まれた者が恵まれない者を哀れむという理由は何もない。ただ人生は愛でなければならぬ。愛の光のない人生というものはあり得ない。それは鳥や獣の世界にも劣る世界である。

〔作品の出し方〕

▼今回も硬筆部だけに限ります。全員本会級位用紙に書いて下さい。硬筆を習っていない方も、出品は可能です。ご自由にどうぞ。

▼用具は自由ですが、線美を追求のためには、つけペン・墨汁をお薦めします。

▼出品制限の対象とはなりません。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績を、作品余白にお書き下さい。

※不明な点は無記入でも結構です。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

▼月例作品と同封する場合は、必ず別のビニール袋に分け、表に「月例」「短期特別」と明記して混同しない様にお願いします。

一般部規定課題

締切り 9月22日(必着)

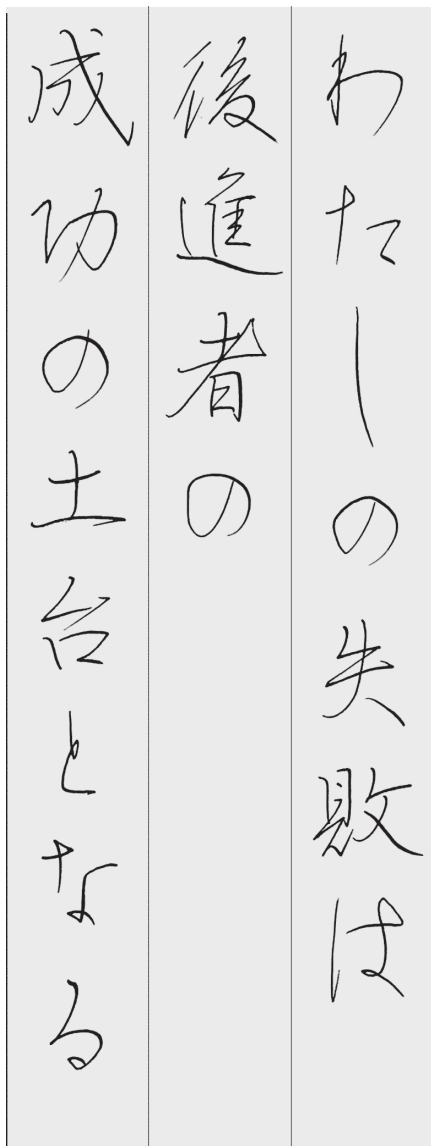
準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。

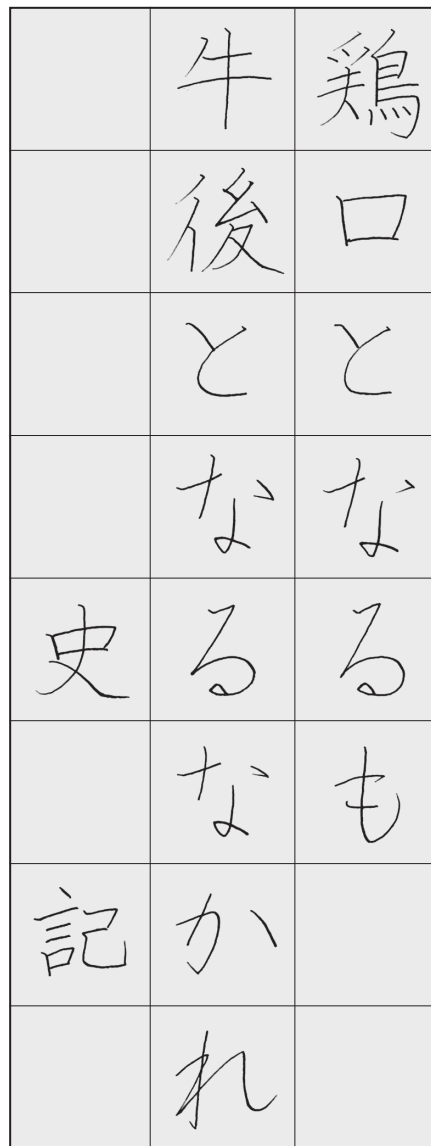
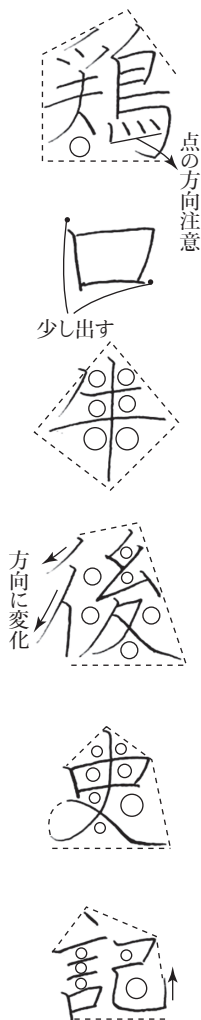


新井龍峰書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



古田瑞苑書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

★鶏口と：(書体楷書)

中国最古の歴史書『史記』より

(司馬遷「前四史」)

「大きな集団で、人のしりにつき従っているよりは、小さな集団でも、その頭になった方がよい」という意味である。しかし、現代の若者の就職希望の上位に大企業が名を連ねる今日においては、このことわざの当否は一概には言えないが、自己の志を最大限に発揮するためには、やはり小さな団体でも、その主宰者となった方がよいだろう。

◆10月課題予告(行書)

私はいつでも

部下とともに働く

ワシントン

★わたしの：(書体行書)

内村鑑三(一八二二～一九三〇)

キリスト教伝道者、教育家

敬虔なクリスチャンであった鑑三は、天皇を神とした戦前の教育に受け入れられず、東京第一高等学校(東大養学部前身)の英語教師の職を追われ、貧困のうちに最愛の夫人までも病気でなくした。けれども、鑑三の信仰と信念は全く衰えなかった。課題文は、鑑三の最初の著書にある言葉で、鑑三の信念の強さをそのまま表しているといえよう。

◆10月課題予告(楷書)

労働があつて

初めて安楽もあり

休息もある

▼教範・書範行草または草書

▼師範行書

締切り 9月22日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

金剛乃の露日ひとつ徒布ぶや石の上有遍

金剛農の露ひとつぶや石以の上

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

た なか き こう
田 中 貴 光 書

▷用具=自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

た なか き こう
田 中 貴 光 書

▷用具=自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

金剛の露ひとつぶや石の上

（川端茅舎）

〔句解〕石の上にひとつぶの露がある。それをじっと見つめていると、まるで、かたい金剛石のように、永遠に光り続けるものであるように思えてくる。

〔鑑賞〕石の上のひとつぶの露だけを凝視して、周りのすべてを省略した句。やがては消えてしまうはずのはかない露が、じっと見つめていると堅固な大きな世界のように見えてくる。自然の不思議さの中に永遠の生命が見えるのである。

〔古筆参考〕

農の 乃の 布ふ 以い 遍へ
 若 乃 乃 乃 の
 遍 遍 遍 遍 遍
 遍 遍 遍 遍 遍

◆10月課題予告

露の中万相ばんそううごく子の寢息ねいき

（加藤 楸邨）
かとうしゅうそん

締切り 9 月 22 日(必着)

日中の日差しはなお厳しいものがあります。夕刻ともなれば秋の涼気が次第に感じられるようになり。お彼岸の中日には、子供達とお墓の清掃をしてからお邪魔させていただきます。

日中の日差しはなお厳しいものがあります。夕刻ともなれば秋の涼気が次第に感じられるようになり。お彼岸の中日には、子供達とお墓の清掃をしてからお邪魔させていただきます。

※手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

お 郷 すい こう
尾 郷 翠 光 書

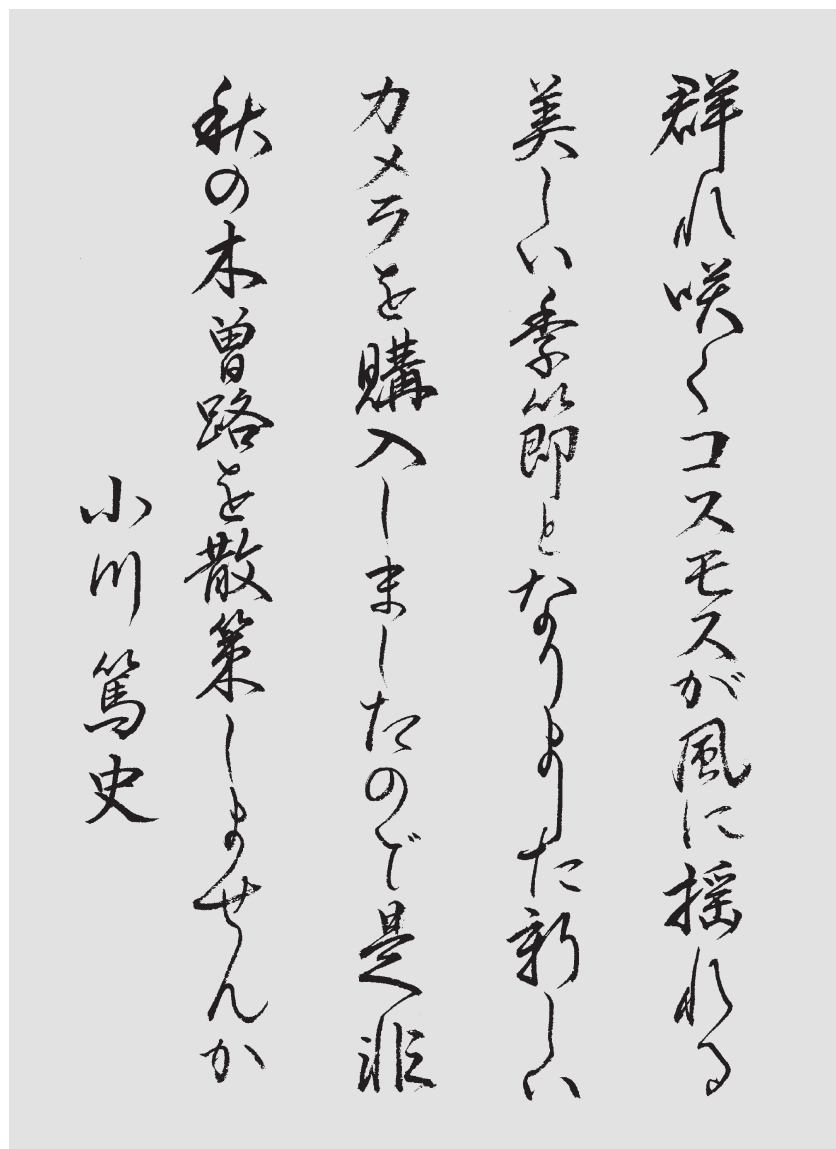
胡麻はゴマ科の一年草で、昔から
栄養に富む万能食品とされてきた。

兵庫県淡路市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

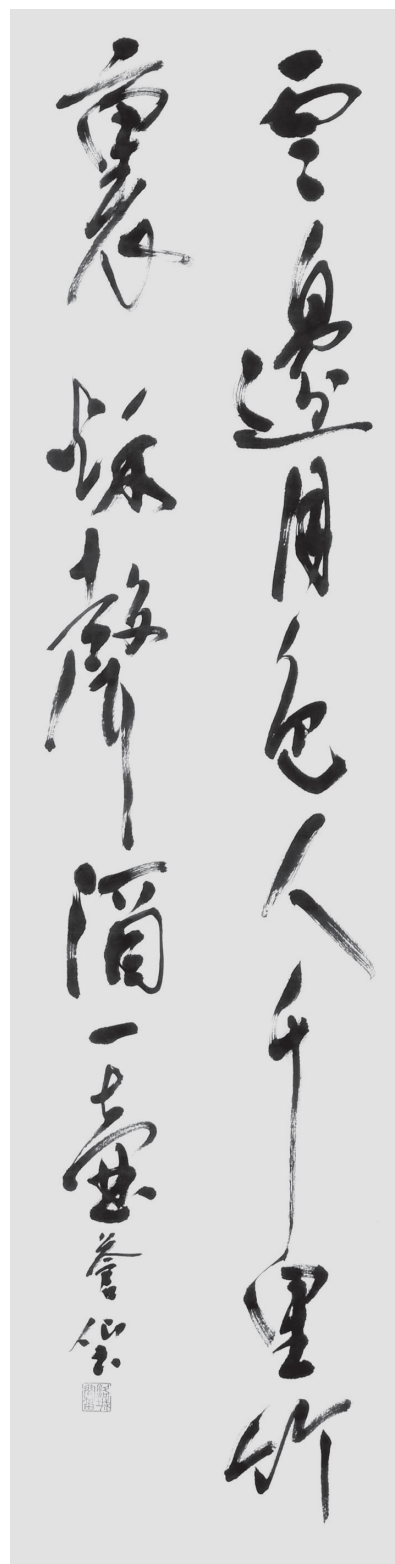
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334 mm × 240 mm)

伊藤梅香 書



締切り 九月二十二日 (必着) 半切 (一二六 cm × 三五 cm)

荻田蒼仙 書

雲邊月色人千里

竹裏秋聲酒一壺

陳普

〔条幅解説〕

蕾ばかりや反対に開きっぱなしの花ばかりでもよくない。やはり適当に混ざっているのがよろしいのではないでしょうか。そんな事を考えながら、個々の墨量や太細を考えて書きましよう。
※落款(名前)は本文と同じ筆で、調子を合わせて書くことが大切です。

群れ咲くコスモスが風に揺れる
美しい季節となりました 新しい
カメラを購入しましたので是非
秋の木曾路を散策しませんか
(ご自分の氏名)
・印で墨つきしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〔大意〕雲上高くに冴える月の一つでも人は千里に別れている。竹林の中で聞く秋の声を酒壺に対して聞き友をなつかしむ。

初出品の方へ

支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

新入から1級まで(楷書)

澤 幸
さわ かし
くす 書

我愛夏
日長

われなつのひながきをあいす
我愛夏日長

〔大意〕世の人はみな、夏の炎暑に苦しんでいるが、私は一年中で一番長い夏の日が好きである。

〔解説〕

我 夏 長
愛 日

◆10月課題予告(行書)

菊花令
人壽

準初段から師範まで

須田一葉臨

生而點
畫狼藉

眞
而
點
畫
狼
藉

生而點
畫狼藉

〔出典〕書譜（六八七）
〔筆者〕孫過庭（六四八？～七〇三？）
〔読み〕眞（ならずして）、而も点
画は狼藉たり。
〔解説〕

生而

點
畫

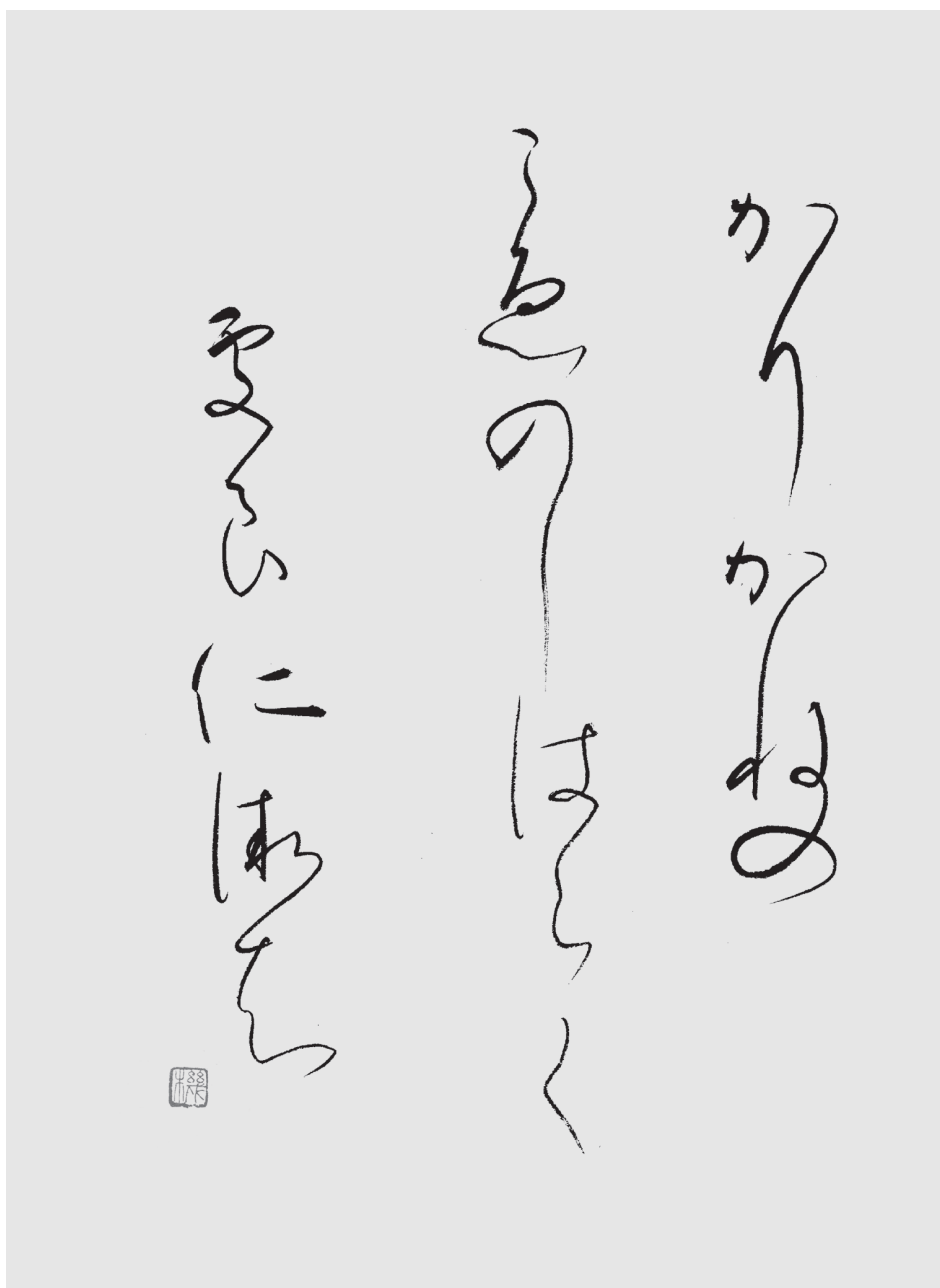
狼
藉

◆10月課題予告
※文献によって字体が異なる場合があります。

徳潤身
皆資學

新入から1級まで

浅井機山先生書



雁の声のしはらく空に満ち

高野素十

〔句意〕

雁の姿を描かず、雁の声そのものをとらえて、空に充滿した雁の声を通して、一羽二羽の懸命に空を飛ぶ姿と雁の生命力を思わせる句。

◆10月課題予告

硯かと拾ふやくばき石の露

〔解説〕

上5は、「かり」と「かね」の連綿の仕方が微妙に違います。「の」は字間を密にしてつぶれた字形で1行を引き締めます。中7は、小さい字、大きい字の変化と長い「し」上部3字と下部3字をつないでいます。

下5は、「仁」をじっくり書いて1行を引き締め、「知」は細めに書いて下の空間にゆったりヒロガリを作ります。

さて、1行ずつ見ていきましょう。

「かりかねの」

「か」の第1画は突いて〈蔵鋒〉出来たバネを使って書き出します。蔵鋒は鋭い、強靱な線を書くことが出来ます。

「か」の第3画の点は、ゆったり回ったら一氣に直線に入り、「り」につなぎます。

「かね」の「か」は、曲線の部分が連綿線ですから、ここはスピードをゆるめて、その後一氣に直線に入り「ね」につなぎます。このリズムの呼吸をつかむと連綿線は上手く書けます。

「ゑんのしはらく」

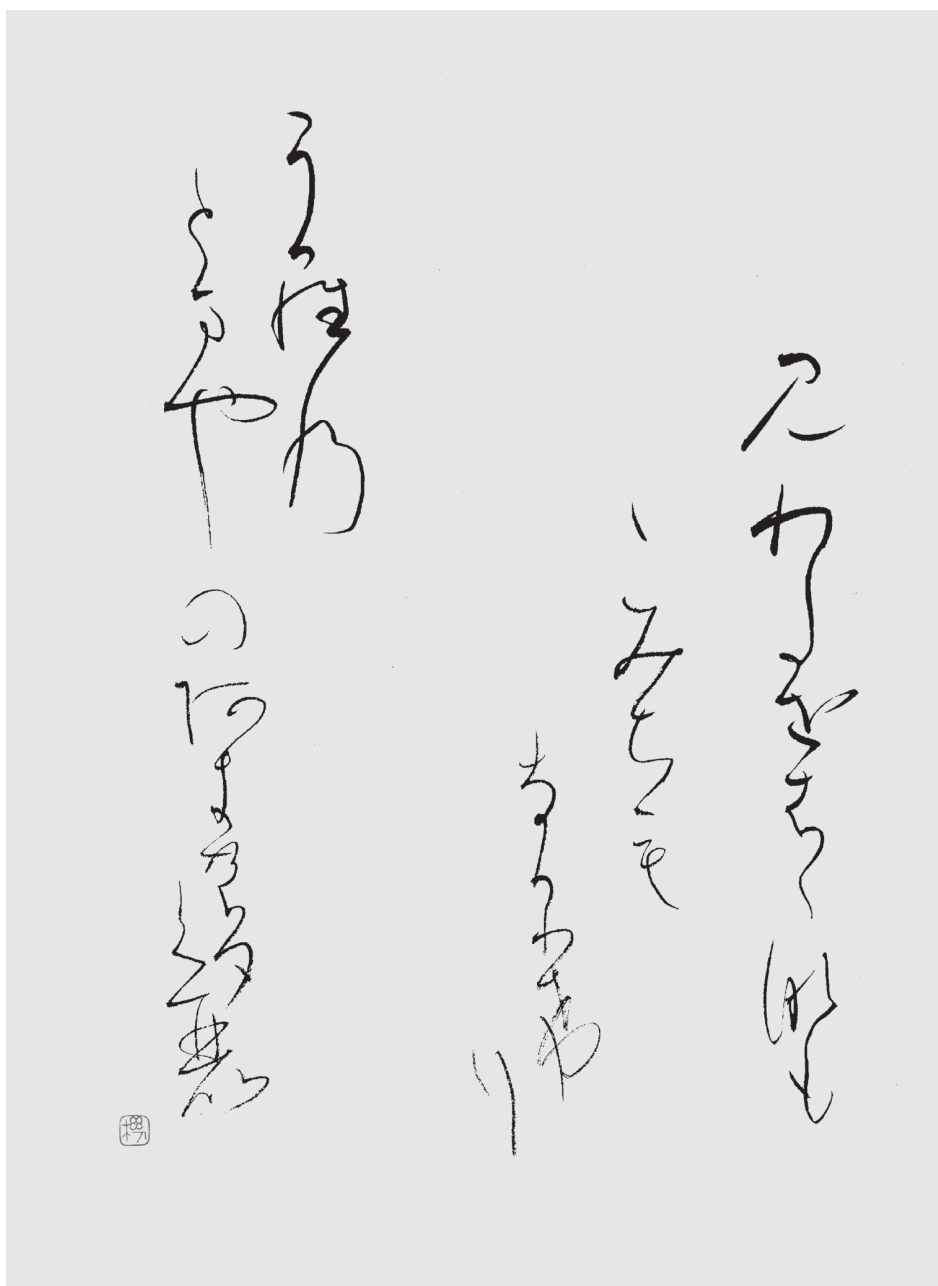
第2行に来たら、気分はのびやかに、大らかに書き上げましょう。「し」の長さが足りなくても、又は長すぎても、あまり気にせずに1行を書き上げましょう。

「處良仁微知」

「處」は「処」の古い字体です。字典を引いて〈草書〉の書き方をつかんでおきます。「微」の書き方もいろいろありますから『字典』を引いて確認しましょう。

準初段から師範まで

浅井機山先生書



見渡せば花も紅葉もなかりけり

浦の苫屋の秋の夕暮

「新古今和歌集4秋363」藤原定家

〔歌意〕

はるばると見渡すと、花も紅葉もここには何も
ない。浦の苫屋の、さびしい秋の夕暮れよ。

◆10月課題予告

小倉山峰のもみぢ葉心あらば
今ひとたびのみゆき待たなむ

〔解説〕

これは、「新料紙」です。本物の料紙を写して印刷したものです。1枚の価格は10分の1以下で購入できます。競書出品には新料紙でいいかと思えます。

本物の「料紙」は展覧会で使います。仮名で使用する料紙は、本来1枚で仕上げるもので、価格も高価ですし、同じものが何枚もあるものではないからです。「古筆」を書いた平安時代の料紙も1枚きりの料紙で清書されており、料紙の「下書き(草稿)」などありません。非常に貴重だったのです。

さて、1行ずつ見ていきましょう。

「見万多世者、那も」

「見」の第1画は慎重に。それから左、右とリズムをもって、「わ」の第1画まで軽やかに。一呼吸して、太い横線は重厚に、あとは自然体で書いていきます。

「みち毛」

右行より下げて書き出し、

「奈可利希り」

さらに、ぐっと下げて書き出し、

「り」で前半を安定させます。

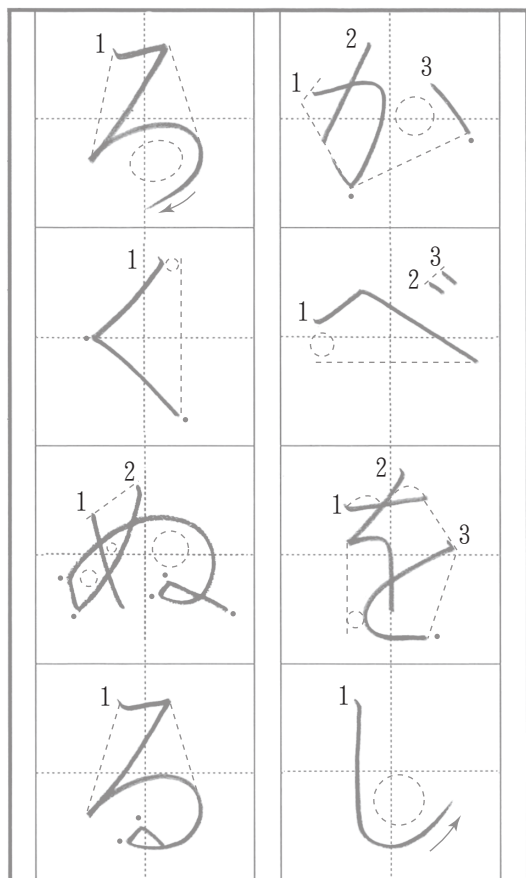
「う羅乃」

墨継ぎして、右余白がたっぷりありますから、大きく、ゆったり、のびやかに。

「と万やの阿支農夕く麗」

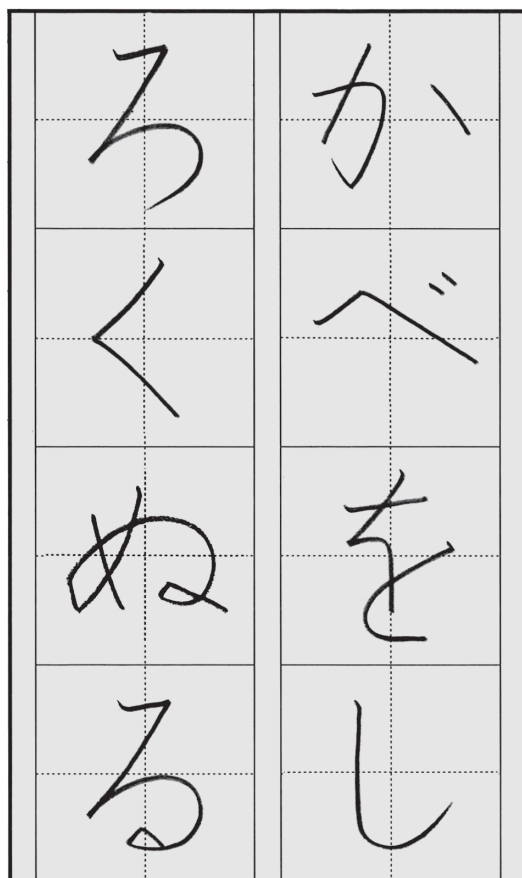
「と万や」は、「う羅乃」と1体になるようにしておいて、「の」は軽く、細めに書いて上部を生かし、「阿支」からは全体を見ながら、「く麗」でしっかりバランスを取り、全体を安定させます。

〈ようぐ〉自由(黒色にかきえる)



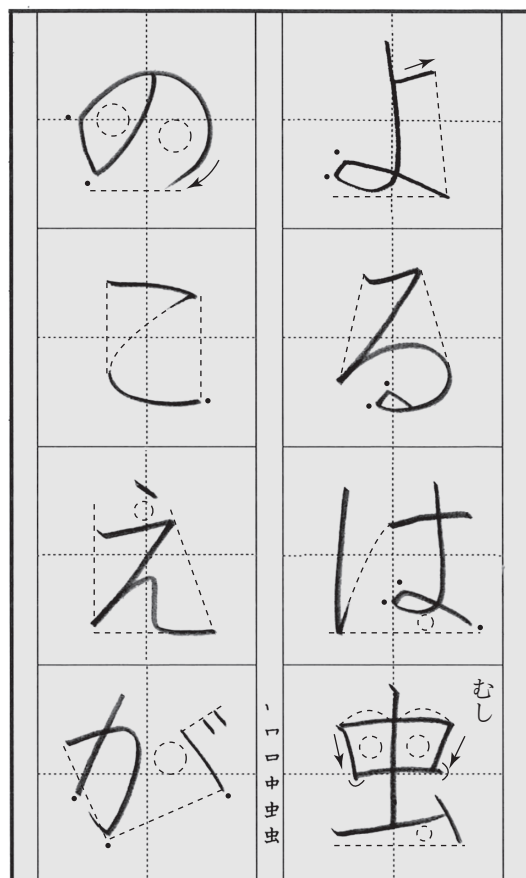
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



よ
う
年

幼年～小三年まで
三宅容玉書



新入～1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)

デン 電	ミズ 水
キ 気	チカラ 力
ツク 作	デ で
ル る	

新入1級

電	か	水
気	い	の
を	ダ	力
作	ム	を
る	で	つ

準初段以上

小二年

準初段以上

ナガ 長	キ 黄
ミドリ 緑	いろ 色
ツク く	デ の
ル を	

新入1級

つ	緑	雨
を	色	の
は	の	日
い	長	に
た	く	黄

準初段以上

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)

言 訓 調 調 調	チヨウ 調	二チ 調
立 章 達 達 達	タツ 達	ヨウ 用
	ロ 品 品 品 品	ヒン 回
		を

新入〜1級

調	て	お
達	日	店
す	用	を
る	品	回
よ	を	っ

小四年
準初段以上

小四年以上
岡山 嶋 桂川 書

日 甲 里 野 野	ヤ 野	ソ 祖
サ 菜 菜 菜 菜	サイ 菜	フ 父
一 ナ 大	ダイ 太	は た け 畑
コウ(ラツ)	好	と(る) 採

解説(よく見て習いましょう)

が	採	祖
大	れ	父
好	た	の
物	野	畑
だ	菜	で

小五年
(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

〈用具〉自由(黒色に限る)

コク 国	ボウ 貿
ジ 自	エキ 易
ドウ 動	コウ 港
シャ 車	ショ 諸

解説(よく見て習いましょう)

車	諸	貿
な	国	易
と	へ	港
輸	自	か
出	動	ら

小六年

(全員)

術	彩	独
作	感	創
品	覚	的
見	の	な
る	美	色

中二・三年 (行書)

小	題	字
説	材	宙
を	に	旅
投	し	行
稿	た	を

中一年

(行書)

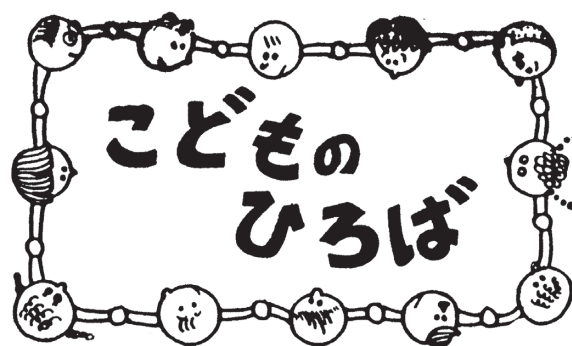
▼小三年以下の課題 や 矢 川 智 水 書

用	お	す	お	十
意	だ	す	月	五
し	ん	き	見	夜
ま	ご	と	は	の
す	を			



◎お手本はえんぴつ使用

- ◇作品の出し方
- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
 - 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
 - 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
 - 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
 - 一、成績は評価により毎月変わります。
 - 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



しめきり 9月22日（必着）

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

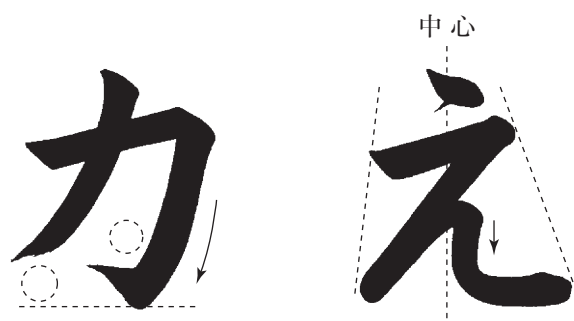
▼小四年以上の課題 なか むら すい えん 書
中 村 翠 苑

確	注	避	全	防
認	意	難	校	災
し	す	経	生	の
ま	る	路	徒	日
し	事	や	で	は
た	を			



◎お手本はつけペン使用





物大好

小五

つ長ぐ

小三

大 長

好 用

物 品

品日用

小四

小三〜小五年
水野碧友書

中三
色彩
感 覚 彩 彩

港 貿
小六
易

旅 貿
感 易
覚 宙

※行書は線の連なりを大切に！

中一
旅 宇
行 宙

小六／中二・三年
玉樹小華書